|  |
| --- |
| 中学校　国語科　単元デザイン |
| 単元名 | 学　年 | １学年 |
| 全体の構成を捉え，図表などの情報を的確に読み取り，自分の考えをもつ（教材名　言葉のゆれを考える） | 生徒数 | ４０名 |
| 授業者 | 佐藤　悠樹 |
| １　単元の目標と観点別評価規準 |
| ⑴説明文を読んで，原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。【知識及び技能】⑵ア⑵説明文の文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えること。【思考力・判断力・表現力等】C⑴エ⑶言葉がもつ価値に気付くとともに，進んで読書をし，我が国の言語文化を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【学びに向かう力，人間性等】 |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・説明文を読んで，原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。（⑵ア） | ・「読むこと」において，説明文の文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。（C⑴エ） | ・積極的に説明文の構成や展開を捉え，情報を的確に読み取り，学習に見通しをもって自分の考えをまとめようとしている。 |
| ２　単元で働かせる「見方・考え方」 |
| ・説明文の構成や展開に着目し，説明的文章の構成の仕方について考える。・図表の使い方や文末表現に着目し，効果的な説明方法について考える。 |
| ３　単元における「学習課題」 |
| 【単元の学習課題】　文章全体の構成を捉え，図表などの情報を的確に読み取り，自分の考えをもとう。 |
| ４　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた具体的な子どもの姿と手立て |
| 主体的な学び | 対話的な学び | 深い学び |
| 見通しをもつ全体の見通しをもち，課題解決に向けて積極的に取り組もうとしている。・説明的文章を読んでいくためのプロセスを理解し，最終的な目的を示しながら読む場を設定する。振り返って次へつなげる連続する説明的文章の特徴をまとめ，次の説明的文章にも学びを生かしている。・三つの説明文が連続していることを意識させ，それぞれの説明文の構成の特徴について自ら考えられる課題を設定する。 | 多様な情報を収集する文章や図表などから得られ情報を整理し，活動に生かしている。・文章や図表などから必要な情報を読み取る場を設ける。標識 が含まれている画像  自動的に生成された説明思考を表現に置き換える読み取り，まとめたものを自分の考えとして原稿用紙にまとめ，伝えようとしている。・「ら抜き言葉」について情報を集め，自分の考えを原稿用紙にまとめて発表する場を設定する。 | 　　　　思考して問い続ける自分の考えと筆者の意見を比較し，ゴールへのイメージをもつ。・「言葉のゆれ」の代表格である「ら抜き言葉」について，自分の経験などを照らし合わせながら考える場を設定する。物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明　　　　自分の考えを形成する筆者の意見や図表などで表された根拠から，意見をまとめる。・「ら抜き言葉」に対する自分の意見を，原稿用紙にまとめる場を設ける。 |
| ５　単元の指導と評価の計画（全３時間） |
| 時間 | 具体的な子どもの姿 | 学習課題（◆）　主な学習活動（○） | 評価の観点【】　評価規準 |
| １ |  | ◆「問い」と「答え」に当たる部分を見つけ，根拠を確認する○　全文を読み，筆者の「問い」と「答え」を捉　　える。○　構成や展開から，根拠にあたる部分を見付ける。 | 【態度】・題名や内容から，最終的に「ら抜き言葉」について意見をまとめようとしている。（観察・ノート）【知・技】・「言葉のゆれ」や「ら抜き言葉」について理解している。（観察・ノート） |
| ２ | 物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆グラフから情報を読み取り，効果の違いを考える○　グラフを読み取り，それぞれが表す情報につ　　いてまとめる。 | 【知・技】・図表や文章から，「ら抜き言葉」がどのように捉えられているか理解している。（ノート）【思・判・表】・読み取った内容をグループで交流している。（観察） |
| ３ | 標識 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆「ら抜き言葉」について意見文を書こう○　これまでの学習から得た情報を基に，自分の意見をまとめ，交流する。 | 【態度】・積極的に「ら抜き言葉」について自分の意見をまとめようとしている。（観察・原稿用紙）【思・判・表】・まとめた情報から必要なものを根拠にし，自分の意見をまとめている。（原稿用紙） |